

令和5年度学校評価結果について

学校評価アンケートをお願いしたところ、多くの保護者の方からご回答をいただきました。ありがとうございました。

28項目の質問について、「ほとんどできていない(1点)」から「十分できている(4点)」の4段階+「わからない」で答えていただきました。全項目の平均は「3.1」(「わからない」評価を除く)でした。3が「おおむねできている」ですので、学校の教育活動に対して全体的にはおおむね肯定的に評価していただいていると考えます。

さて、そのアンケート項目の個別の結果について、2点お伝えします。

- 1 回答の中で最も平均点が低かった(3.0)の項目が9つありました。その中で令和4年度より大きく評価が下がった項目が「学校は、あいさつ・言葉遣い(マナー)、規範意識(ルール)の定着に努力している。」という項目です。この項目に回答いただいた保護者の方の約15%が「あまりできていない」「できていない」を選択されていました。

学校では朝のあいさつ運動をはじめ、多くの場面で「気持ちのよいあいさつ」について指導しています。進んで元気にあいさつができる子も増えてきているのですが、個人差が大きいことが課題です。下校時巡回指導等や登下校の見守りの中で「あいさつができていない」と耳にすることもあります。今後も道徳や学級活動等の学習はもちろん、生活委員会を中心とした啓発活動、教職員からの声掛けを継続していき、気持ちのよいあいさつができる児童を育成していきます。そして、教職員自身が、進んで気持ちのよいあいさつを心がけていきます。

言葉遣いや規範意識についても、学校でその都度指導しているところです。しかしながら「これぐらいいいだろう」という意識、メディアの影響、社会体験の不足、周囲への配慮に欠ける等、様々な事が影響し、改善が見られない点もあります。言葉遣いや規範意識は社会でよりよく生きていくうえで必要な資質能力です。不適切な言葉遣いや行動が見られた場合は、しっかり事実確認をしたうえで、どのような言葉遣いや行動であればよかったか、今後どうしていくべきかを丁寧に指導していきます。根気強く、繰り返しです。

これらのことは、学校だけで身に付くものではありません。ご家庭や地域の方々の協力が必要です。ご家庭でも、あいさつや言葉遣い、規範意識について、学校と同じように声掛けをお願いします。家庭と地域、学校がひとつになって改善に向けた取組を進めましょう。

もうひとつ評価が下がった項目は「学校は、連絡帳、電話連絡、家庭訪問などで、家庭との連携に努めている。」です。この項目に回答いただいた保護者の方の約17%が「あまりできていない」「できていない」を選択されていました。

この点については、学校からの積極的な働きかけが必要だと考えています。気になることやトラブル等、ご家庭に伝えた方がよい場合は積極的に連絡を取り、家庭と学校が一緒になって子どもへの支援や声掛け、指導を躊躇せず行うことで、子どもたちの成長へ繋げていきます。子どもの成長を願う気持ちは皆同じです。連携を密にとり、同じ方向を向いて子供と向き合うことが大事です。家庭でも気になることがありましたら、学校へご相談ください。

2 回答の中で最も平均点が高かったのが、「学校は望ましい生活習慣（早寝早起き・メディアコントロール等）の継続的な指導を行っている。」「学校は、学年・学級だより・メールなどで情報発信に努力している。」「子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。」という項目で、平均「3.3」でした。

特に、子どもたちが「楽しそうに通っている」と考えていただいている保護者が多いことはたいへん嬉しい評価です。本項目は前年度までも3年連続最高評価であり、本当に喜ばしいことです。しかしながら、「あまりできていない」や「できていない」という評価をされた方も、約9%いらっしゃいました。この子たちも含めて「みんなが楽しく通える学校」にするために、これからも「チーム真津山」一体となって頑張っていきます。御協力よろしく申し上げます。

記述式のご意見の欄にもたくさんの言葉を頂戴しました。「あいさつ」「家庭学習」「教育環境」「言葉遣い」「スマートフォン」「タブレット」「教職員の指導」等について励ましや提案など学校の力となる言葉をたくさんいただき感謝申し上げます。また、学校の課題についても多くのご意見をお聞きすることができました。これらを真摯に受け止め今後の教育活動に生かしてまいります。

また、学年末の学校評価についても御協力をお願いします。フォームでの回答になりますが、緊急に対応しなければならない場合も考え、前回同様、記名式にさせていただきます。回答は管理職のみが確認を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

※学校評価についてはホームページでも公表します。

保護者	令和5年度 学校評価結果 保護者	2学期末	学年末
徳育	1 学校は、いじめや差別、不登校を生まない学校づくりに努力している。	3.0	
	2 学校は、思いやりと感謝の心を育み、人権意識を育てるために努力している。	3.1	
	3 学校は、あいさつ・言葉遣い(マナー)、規範意識(ルール)の定着に努力している。	3.0	
	4 学校は、自分の頭で考える教育活動を推進し、未来を生き抜く力の育成に努めている。	3.0	
	5 学校は、個人面談・教育相談等で児童理解に努め、親身な指導を行っている。	3.1	
体育	1 学校は、交通事故や校内事故の防止のための安全指導を継続的に行っている。	3.1	
	2 学校は、外遊びや体力づくりについて、継続的な指導や励ましを行っている。	3.1	
	3 学校は、望ましい生活習慣(早寝早起き・メディアコントロール等)の継続的な指導を行っている。	3.3	
	4 学校は、健康増進の習慣づくり(歯みがき・手洗い・うがい等)のために継続的な指導を行っている。	3.1	
	5 学校は、望ましい食習慣づくりのために、給食指導を中心とした食育に取り組んでいる。	3.2	
知育	1 学校は、学習指導要領の趣旨や求められている力などについて、保護者に周知するように努力している。	3.0	
	2 学校は、知識等を教えるだけでなく、探究的な活動や交流活動など、子どもを主体者とした授業づくりに努力している。	3.1	
	3 学校は、授業の終始や学習準備、姿勢などの学習規律の定着について継続的な指導を行っている。	3.1	
	4 学校は、学習において個別に支援を要する子どもへのサポートに努力している。	3.0	
	5 学年に応じた家庭学習が習慣づけられるように、継続的な指導や励ましを行っている。	3.0	
家庭との連携	1 学校は、連絡帳、電話連絡、家庭訪問などで、家庭との連携に努めている。	3.0	
	2 学校は、学年・学級だより・メールなどで、情報発信に努力している。	3.3	
	3 学校は、家庭学習習慣や家庭読書、メディアコントロールなどについて、保護者が考えるきっかけを与えてくれる。	3.2	
	4 学校は、懇談会や面談において、信頼関係を深め、家庭教育について考えるきっかけを与えてくれる。	3.1	
教育環境	1 学校は、安心安全な場であるための点検と処置、安全指導を継続的に行っている。	3.2	
	2 学校は、清掃・整理整頓がなされ、学校の美化を保つことに努力している。	3.1	
	3 学校は、季節や学習内容に応じた掲示物の工夫など、学校らしい環境づくりに努力している。	3.2	
	4 学校は、プランターや花壇、学習園などで潤いのある環境づくりに努力している。	3.2	
子どもたちの姿	1 子どもたちは、あいさつや思いやりの言動ができる「人を思いやる優しい子」に育ってきている。	3.0	
	2 子どもたちは、運動・食事・衛生などのよい習慣づくりに努める「心も体も元気な子」に育ってきている。	3.1	
	3 子どもたちは、授業・家庭学習に主体的に取り組む「自ら学び表現する子」に育ってきている。	3.0	
	4 子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	3.3	
その他	真津山小学校は、子どものためになる教育活動を行っている。	3.1	

令和5度2学期学校評価概要

全28項目について、1（ほとんどできていない）から4（十分にできている）+「わからない」で評価。
全項目平均は「3.1」「おおむねできている」のやや上）
本校の教育活動におおむね肯定的な評価と考えます。

平均が最も低い項目は？

「学校は、あいさつ・言葉遣い（マナー）、規範意識（ルール）の定着に努力している。」・・・「3.0」

社会に出て生きていくうえで大切な力です。「気持ちのよいあいさつとは」「気持ちよく生活できる言葉遣いや規範意識」を機会あるごとに考えさせ、丁寧にかつ、根気強く指導を続けていきます。家庭や地域の協力も必要です。共に子どものよりよい成長に向けて取り組みましょう。

「学校は、連絡帳、電話連絡、家庭訪問などで、家庭との連携に努めている。」・・・「3.0」

学校からの積極的な働きかけをしていきます。家庭と学校が一緒になって子どもへの支援や声掛けを行い、子供の成長に繋がります。

回答率 55% (282/511)

半数以上のご家庭から回答をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。学年末の回答についてもよろしくお願ひします。

平均が最も高い項目は？

4年連続！

「子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている」・・・「3.3」

「学校が楽しい」という子どもの思いは、大変嬉しいものです。学校が好きだからこそ身に付くことや高まることもたくさんあります。まさに学校の根底を支えるものです。

しかしながら、「あまりできていない」「できていない」という評価もいただきました。評価が相対的に高かったからよいのではなく、真津山小学校に通う全ての子どもたちが「楽しく通える学校」にするために、教職員一同、これからも全力を尽くします。

記述式ご意見欄から

○挨拶の様子について

→ 「校区内で挨拶する子が少ない」という御意見をいくつかいただきました。学校としても挨拶について生活の重点課題としてまた、人間関係をつくる基本として継続指導中です。「地域の中でも進んで挨拶ができる、気持ちのよい真津山小の子ども」を目指して今後とも指導や取組を進めていきます。ご家庭でも「気持ちのよいあいさつ」について、機会あるごとにお話しいただければと思います。また、教職員も手本となる挨拶をするよう指導してまいります。

○家庭学習について

→ 家庭学習の効果についてお尋ねがありました。全国学力調査の結果からは「全教科における得点率の増加」「無答率の減少」標準学力調査の結果からは「文章を書く」問題における標準スコアの上昇が確認されています。これは、2月の学級分会にて各学級で説明した通りです。子どもの学習内容の定着には家庭学習の習慣化が不可欠です。効果的な家庭学習の在り方については今後も模索してまいります。

○教師の指導について

→ 教師の指導に対してのご意見もいただいております。保護者の方の思いをしっかりと受け止め、改善すべきところは改善し、子どものためになる教育活動を実践してまいりたいと考えますので、学校、教員の対応についてお尋ねになりたいことがあれば、遠慮なく学校へ御連絡ください。